土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	一級河川太田川水系三谷川外砂防設備緊急改築事業に伴う測量設計業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　砂防

ボーリング名	No.2	調査位置	広島県山県郡安芸太田町上筒賀（三谷川右岸）	北緯	34° 32’ 57.7819″
発注機関	広島県西部建設事務所　安芸太田支所	調査期間	令和4年10月 7日～ 令和4年10月12日	東経	132° 15’ 11.2129″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 327.26m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	10.00m	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦地下工機　DO-C型
					エンジン：ヤンマー　NF 110型　ポンプ：東邦地下工機　BG-3B型

標尺（m）	標高（m）	深度（m）	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度―N値図	N値	深度（m）	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度（m）	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
1				人工材料		茶灰			既設堰堤。コンクリート構造 深度0.0～0.3m間は、シングルコアチューブでの採取のため礫状となる。 深度0.3m～3.5m間は、概ね短柱状コアとして採取される 粗骨材は、3cm～7cmの礫が主体。 所々に10cm～20cmの礫が含まれる。 深度1.6m付近で全漏水。		0 10 20 30 40 50 60												10/7
2																								
3									深度2.6m付近に木片が混入。															
4									深度3.5m付近に空隙があり全漏水、															
5									深度4.5m～7.8m間は、10cm～30cmの短柱状コアとして採取される。															10/11
6																								
7									深度7.8m～9.0m間は、空隙があり劣化して礫状コアとして採取。	10/12 6.90														
8																								
9	318.26	9.00		砂質泥岩		黒灰			砂質泥岩 岩質は硬いが、亀裂により岩片～短柱状コアとして採取される。 岩級はCL～CM級の軟岩Ⅱ			50以上	9.00	貫入不能			50/0	0							
10	317.26	10.00										50以上	10.00	貫入不能			50/0	0						10/12
11																								
12																								
13																								
14																								
15																								